

「見える化」ポータルサイトに関する意見

みずほ銀行
山田 大介

「見える化」ポータルサイトについて、以下の通りコメントさせていただきます。

【総論】

○ 「一人当たり」の概念を踏まえたデータ開示の必要性

- 将来的な人口動向によって、各自治体の行政コストが異なってくる中では総コストを指し示すデータよりも「一人当たり」の概念を踏まえたデータで横比較をすることが必要
- また、「一人当たり」の概念を踏まえた指標を開示することで、住民も同行政単位・同規模の自治体との比較が容易になり、ボトムアップでの改革を促進する効果も見込まれる
- 以上の認識のもと、各省庁から「一人当たり」ベースのデータの拡充を図って頂く予定となっているが、各データを本サイトに集約し、横比較をしやすくするなど、読み手を意識したデータ展開をお願いしたい

【各論】

○ 公的不動産（PRE）活用に係る「見える化」促進

- PRE 活用の課題発見の切り口として、各地方自治体における世代別人口と公共施設の供給量のミスマッチを明らかにすることが挙げられる。そのための「見える化」として、地方自治体におけるセグメント別の公共施設指標（施設数、一人当たり面積、一人当たり維持コスト等）が明らかになれば、人口構成とクロスオーバーした分析ができるのではないかと
- 各地方自治体での PRE 活用の取組・進捗状況については、現状、好事例等の公開に留まっている状況であるところ、「見える化ポータルサイト」で地方自治体ごとの売却実績・賃貸実績等の取組成果を件数や金額で公表することで、各地方自治体の横比較が出来るようになるのではないかと

○ 公共サービスにおける住民負担の「見える化」促進

- 「水道料金と一人当たりの水道維持コスト」「小学校の給食費と給食提供コスト」等、入り払いを「見える化ポータルサイト」で公表し、各地方自治体における公共サービスにおける住民負担の横比較が出来るようにすることで、地方財政見直し（官民連携・官官連携促進等）のきっかけとなるのではないかと

※なお、公営企業の基本データや経営指標は「経営比較分析表」による公表がされているものの、個別掲載に留まっており、横並びで一目して見られる「見える化」ポータルサイトでも表示されることが望ましい

○ 「RESAS」との連動・統合

- 経済産業省が作成している地域経済分析システム「RESAS」との連動、或いは統合を図った方が、より多面的な分析・考察が行えるのでは

(例) RESAS：事業所立地動向（事業所の集積状況の変化）

見える化ポータル：行政経費

- 一 事業所の集積状況の変化と行政経費抑制の相関性を測定することが可能となり、コンパクトシティ化に取り組んでいる自治体にとっては有益な分析になるのでは

以 上